

## 会議議事録

会議名	2022年度第2回くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会
開催日時	2023年2月15日(水) 13:30~15:30
場所	オンライン(校内会場:会議室)
出席者 (敬称略)	<p>① 外部委員:篠原陽子(一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 ヘルス・アンド・ビューティケア人材育成センター事務局長)、三上真理子(株式会社ツルハ人材採用部係長) (計2名)</p> <p>② 本校委員:橋本正樹(校長)、結城久美子(くすり・調剤事務科学科長)、中村博臣(くすり・調剤事務科学科顧問)、渋谷大樹(くすり・調剤事務科教員)、宮下明久(事務局参与) (計5名)</p> <p>③ 事務局:土方雄太</p> <p style="text-align: right;">(合計8名)</p>
欠席者	なし
配付資料	事前送付:□資料1:2022年度第1回くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会議事録(案)、□資料2:2022年度第1回委員会以降の主な経過報告 資料3:2024年度カリキュラム、資料3別添A:N・Rサプリメントアドバイザーテキスト もくじ、参考資料:2023年度生カリキュラム
委員長	結城学科長
議題等	<p>1. 校長挨拶</p> <p>橋本校長より、3年間にわたるコロナ禍の中での学校運営は極めて異例の事態で、オンラインの活用や感染防止対策など、教育の様々な場面で臨機応変の対応力が問われたと言える。一方で、こうした目の前の危機に対処していく過程は未来に向けて必要な変化を推し進める絶好の機会でもあり、これまで現状の壁に阻まれて前に進められなかったことが、絶妙のタイミングで第一歩を踏み出したこともあった。</p> <p>コロナ禍の前に戻れないという覚悟で、前を向き、教職員の協力の下、今の時代にかなったよりよい職業人教育の形をつくり上げていきたい。</p> <p>実習教育の場面等でまだしばらくは判断の難しい問題も発生すると思うが、委員の皆様には、くすり・調剤事務分野の仕事の現在と将来について専門家の視点からの貴重なご意見を、また本校のカリキュラム等への提言をいただきたい、との挨拶が行われた。</p> <p>2. 前回委員会議事録の確認(資料1参照)</p> <p>委員長より前回の議事録について諮ったところ、篠原委員より発言者名修正の意見があり、当該箇所を修正した上で議事録として保存することが確認、了承された。</p> <p>3. 2022年度活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2022年度第1回委員会以降の主な経過(資料2参照)</li> </ul> <p>結城学科長及び渋谷教員より、資料2に基づき説明が行われ、確認、了承された。</p>

詳細は別紙のとおり。

#### 4. 2022 年度第 2 回委員会討議事項

結城学科長より、以下の 6 点について報告が行われ、意見交換が行われた。詳細は別紙のとおり。

1. 2023 年度時間割
2. 2023 年度資格取得スケジュール
3. 検討中の資格
4. N・R サプリメントアドバイザー後続科目の検討（資料 3 別添 A 参照）
5. Surface Go 3 導入
6. その他

#### 5. 次回日程、その他

結城学科長より、次回予定している討議内容が紹介され、日程は 2023 年 7 月で調整することに決定した。

○次回討議内容（予定）

- (1) 2024 年度カリキュラム確定のご報告
- (2) 2024 年度タブレットの運用方法について

以上

2022 年度第 2 回くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会の主な討議内容

3. 2022 年度の活動報告

・2022 年度第 1 回委員会以降の主な経過（資料 2 参照）

○結城学科長、渋谷教員により、資料 2 に基づき説明が行われ、項目ごとに質問、意見を伺った。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>1. 在籍状況 (特になし)</p> <p>2. 就職内定状況 今年例年比べて就職活動の開始がすごく早いと感じているが、早めた理由があれば伺いたい。</p> <p>大学 3 年生が内定を持っているという話もある。内定を早く出すと、その後のモチベーションの維持が問題になってくると思うが、その辺で何か感じていることはあるか。</p> <p>3. 2023 年学生募集状況 本年度の出願者数は、今までで最多かと思う。男性も過去最多である。 最近、ドラッグストア業界は人気があるが、志望する学生が増えた等の環境の変化があったら聞かせてほしい。</p> <p>具体的な数値でも体感でも構わないが、説明会に来る学生や志望者が増えたという点はあるか。</p>	<p>最初のきっかけとなる夏のインターンシップから参加される学生が増えてきた。前倒しで動いてくる学生につられて選考も早めになっていると思う。既に内定を出しているところもあるので、そういう状況を気にして早くなっているところもある。</p> <p>弊社では毎月、内定者懇親会を Zoom で行う予定にしている。店舗見学の希望があれば個別に対応する。</p> <p>会社説明会で、ドラッグストアの将来性、成長性を伝えている。少子高齢化でお年寄りが増えることによって健康志向が高まること、介護ケア用品が収益の柱になっていること、景気に左右されにくい業界であることを改めて知っていただけたのではないかと思う。</p> <p>フード&amp;ドラッグのワンストップショッピング化により身近で利用しやすい場所になり、認知度も上がってきているものと思う。</p> <p>小売業の中でも成長率が高いということが認識されて、説明会に参加してみたいという学生は増えてきていると感じている。</p> <p>他の業界が厳しい中で、ドラッグストアの売</p>

<p>4. 2022 年度登録販売者試験合格率 (特になし)</p> <p>5. 2022 年度後期授業アンケート結果 (特になし)</p>	<p>上は伸びている。成長している業界として認知していただけていると感じている。</p> <p>協会自体もドラッグストアを地域の生活者の健康を守る相談所としてアピールしていくことによって、資格を持った人が、自分の能力を生かせる働き場所として認知してもらえるようになると思う。</p>
--	---

#### 4. 2022 年度第 2 回委員会討議事項

##### (1)2024 年度カリキュラム 取得資格の検討 (資料 3)

○結城学科長より、以下の説明が行われた。

##### 1. 2023 年度時間割

- ・2024 年度の 2 年生の後期カリキュラムを 10 コマ程度まで減らし、5 コマ分を他の学期に振り替えることを検討している。
- ・2 年生の後期に検定試験の受験機会を増やしていろいろな資格を取れるようにしてきたが、あまり効果がなかったため、意欲のある 1 年生のうち資格をたくさん取って就職活動に生かせるようにカリキュラムを作成した。

##### 2. 2023 年度資格取得スケジュール

- ・現在は 1 年生で取れる資格が少ない。

##### 3. 検討中の資格

- ・上から実現可能性の高い順に記載した。MOS、普通救命技能認定、全国手話検定、POP 広告クリエイター、ニュース検定、医療事務技能認定試験などが挙げられている。
- ・化粧品検定は 2 年生の後期から 1 年生の後期に移行することを検討している。
- ・1 年生の前期に難しい科目を増やすと退学の原因になることや 1 年生後期と 2 年生前期は登録販売者の試験の時期で科目を増やせないこと、また、2 年生の後期はモチベーションを維持するために学生が興味を持ってくれる科目を設定しなければならないなど、それぞれの学期に難しさがある。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>1年生の前期でサービス接遇実務検定の資格を取るのはいいことだと思う。マナーや礼儀作法など社会人に必要なことを学び、結果として就職の面接にも役立つのではないかと。</p> <p>資格を取りたいという思いが意欲につながるのので、多くの資格取得に向けて勉強することはいいことだと思う。</p>	<p>3級、2級、頑張っている学生には準1級まで指導している。新入社員研修を前取りしたような内容もやっているの役に立つと嬉しい。</p> <p>やる気が熱いうちにやっていきたい。</p>

4.N・Rサプリメントアドバイザー後続科目の検討（資料3別添A）

- ・N・Rサプリメントアドバイザーは、通信教育を受けることが前提であり、その締切りが登録販売者試験の申込み時期と重なること、受験料、通信教育費用、継続のための更新費用など、費用が比較的高いこと、内容が難しいことから、この資格の取得をやめて、後続の資格の検討を進めている。
- ・その1つが健康食品管理士で、1年生か2年生の9月末申込みで11月に受験する。
- ・栄養系の大学、短大の科目を前提としているので、今後、対応できるか相談しながら検討することになる。
- ・テキストを見ていないので、どの程度の難易度なのかが心配だが、費用面ではハードルが低くなる。
- ・申込み時期も登録販売者と重ならないので、当校が認定校となれるかという点が解消できれば、内容を見て検討してもよいのではないかと考えている。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>このほかの資格、栄養やサプリメントの内容をカバーできる資格があれば教えていただきたい。</p> <p>ドラッグストアは医薬品のほかにも栄養関連の商品やサプリメントや化粧品も取り扱っているのので、何か目に見える資格が1つ取ればよいと思っている。お力添えをいただきたい。</p>	<p>調べて、次回報告させていただきたい。</p> <p>協会で「けんかつステーション」を推進しており、「食と健康アドバイザー」の資格をつくろうという動きがある。カリキュラムもこれからで、公的な資格というわけでもないが、決まったら紹介させていただきたい。</p>

5.Surface Go 3 導入

- ・2024年度からタブレットの導入を予定している。
- ・目的は、GIGAスクール構想の下で小・中・高校でタブレットを利用してきた学生に対応することのほか、ペーパーレスによる環境に配慮した学びの提案、人件費の削減、効率化である。

- ・テキストの一部デジタル化、配布資料のデジタル化を予定しており、タブレットとテキストという形で学習を進めていくことが可能になる。
- ・登録販売者試験対策としてタブレットを使うことで学習状況を把握でき、個別指導がしやすくなる。
- ・オリジナルの単語アプリもタブレットの導入と併せてリリースできるよう準備をしている。
- ・医療関連の専門学校では比較的先端的な取組であり、当校でも当学科だけがテストケースとして導入する。
- ・皆さんのところではタブレットをどのように使っているのか、次回の委員会でお伺いできればと思っています。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>ペーパーレス化につながり環境にもよいと思う。 私も Surface を使っているが、持ち運びも便利で使いやすい。</p> <p>私のところはパソコンだが、これからはデスクは共有、タブレットは自分のものという時代になってくのかなと思った。</p> <p>学生は機械にも興味を持っているし、早く慣れるので、より勉強の励みになると思う。</p> <p>(その他)</p> <p>この学科は、学びのモチベーションを2年間どう維持させるかが課題でもある。資格取得も大事だが、それ以外に、業界に入って生きるような知識や体験などをご提案いただきたい。</p> <p>実際にどんな企業からお話をいただいているのか。</p> <p>現状では、2年生の「キャリアデザイン」の中で企業から講師を招いて勉強会をしている。積極的に展示会に参加して、新規開拓に励みたい。</p>	<p>当校では、パソコン室を予約してテストの練習や資料を作ったりしている。タブレットが導入されると自宅でテストのための練習や確認ができるので、パソコン室が空いていないという事態も解消できる。本人が購入することで大切に扱ってくれるし、感染拡大でいきなりオンラインになっても対応しやすいというメリットもある。</p> <p>ドラッグストアではよくやっているが、メーカーの方を呼んで、商品の特徴や背景、セールスポイントなどを話してもらえると、学生も楽しいのではないかなと思う。</p> <p>卒業生の話を聞くことも役立つし、就職先が決まった後のモチベーションを保つことにもなるのではないかな。</p> <p>化粧品関係やコンタクトレンズ関係がある。講師の方は展示会や商品の販売会に行って交渉するという話を聞いた。</p> <p>卒業生の声は学生にも響くし、先輩だから質問もしやすいと思うので、交流会はすごくよい機会になると思う。</p>

卒業生に来てもらうのは、企業の協力が必須になる。オンラインでも構わないので、卒業生を連れてきて説明会をする機会があればお願いしたい。

今の話は、当学科だけでなく、他の学科と共有させていただきたい。

他校ではどなたを対象に発表されているのか、ご存じであれば教えてほしい。

選択している方が試験前に各校から集まって、模擬試験を受けるような環境なのかと思う。励みになるし、切磋琢磨できるとよい。

弊社では、ビューティスーパーバイザー（BSV）が化粧品担当を育成する者と一緒に行って、メイクの仕方を教えるというお手伝いはできると思う。

他校では、卒業発表会を行ったり、「新規出店を計画する」というテーマでグループワークをして発表したり、実習の成果を発表する機会を設けているところもある。

2年生が5名ぐらいのグループに分かれて発表し合うもので、1年生は全員参加し、学科に関わる先生方が審査員となって、表彰も行っているようだ。

登録販売者試験について、グループ校がある学校では、違う学校同士で模擬テストと一緒に受けている。いつも授業をしている先生とは違う先生が出題すると傾向が変わって勉強になるし、新鮮で、いい刺激になるそうなので紹介させていただいた。

問題が新鮮だったことと、知らない人がいると緊張感が出てくるので、本番前に精神的な部分で勉強になったということも聞いた。

以上